

鬼さんも来たくなくなるおにクル、いよいよオープン！
その歩みをたどります

茨木市文化・子育て複合施設

おにクル、 はじまる。

コンテンツ

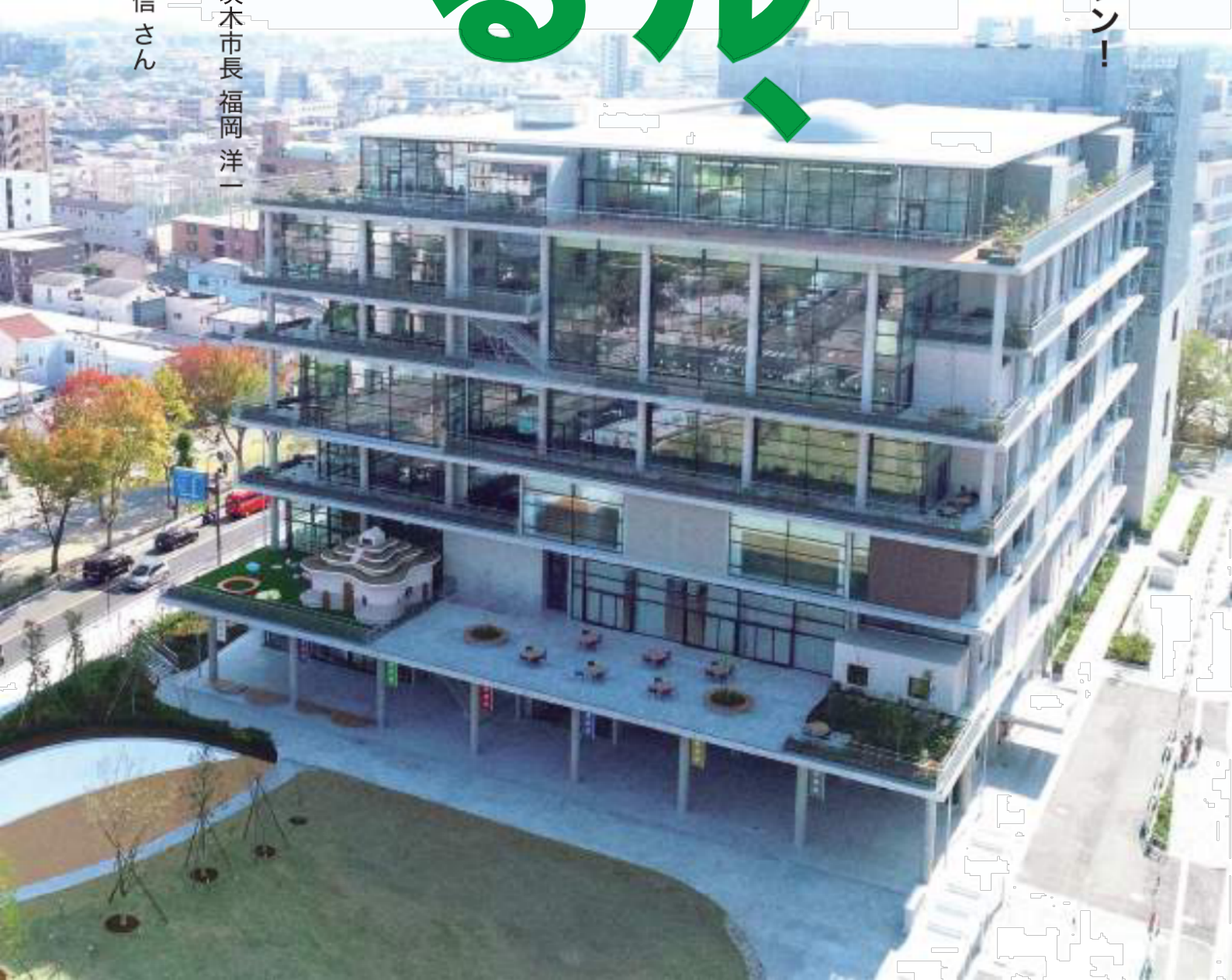
特別対談「おにクルがつなぐ人とコト」

伊東豊雄建築設計事務所伊東豊雄さん × 茨木市長 福岡洋一

インタビュー

Locaco Project 代表 村上貴信さん

職員特別座談会



おにクルがつなぐ 人とコト

おにクル開館を記念し、設計を担当した
伊東豊雄建築設計事務所伊東代表をお招きし、福岡市長と対談を実施。
おにクルの設計に込めた思いや、今後の利用のあり方などを、
それぞれの視点から語っていただきました。

茨木市長

伊東豊雄建築設計事務所

福岡 洋一 × 伊東 豊雄さん



伊東 豊雄 さん

1941年生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、菊竹清訓建築設計事務所勤務を経て1971年にアーバンロボットを設立(後に伊東豊雄建築設計事務所に改称)。主な作品に「せんだいメディアテーク」、「多摩美術大学図書館(八王子キャンパス)」、「みんなの森ぎふメディアコスモス」、「台中国家歌劇院(台湾)」など。日本建築学会賞、ヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞、王立英国建築家協会(RIBA)ロイヤルゴールドメダル、プリツカー建築賞、UIAゴールドメダルを受賞。

市の新たなランドマークに

福岡市長(以下市長) 今回は素晴らしい設計をしていただき、ありがとうございます。ありがとうございました。

伊東 豊雄さん(以下伊東) こちらこそありがとうございます。いよいよ開館を迎え、しばらくワクワクした気分が続くと思います。おにクルは設計当初から屋外部分を広くとって、建物全体を公園のようにする予定だったので、コロナ禍を経てその設計が功を奏した部分がありますね。

市長 風が通り抜けやすい構造は、換気が求められる時代にもマッチしているように思っています。
伊東 それは何よりです。立地的にも茨木市の中でもこれ以上ないような場所につくらせていただき、責任重大でした。

市長 ここは市の東西軸・南北軸という視点から考えて、まさに「まちな真ん中」です。今後は茨木市といえは真っ先に思い浮かべてもらえるような、ランドマークにしたいですね。

縦の道が生む「出会い」

伊東 プラネタリウムや図書館、子育て支援など、多くの施設をまとめるのに苦労した部分もありますが、お子さんを連れられたお母さんが「他の階にも行ってみようかな」と思ってもらえる施設にしようという考えはずっともっていました。



市長 そこをつなぐのが「縦の道」ということですね。

伊東 はい。縦の道はおにクルの成功の鍵を握っているといえるぐらい重要なんです。例えば「子育て相談」にきたら知り合いに会った「イベントを覗いてみたら顔見知り」が参加していた」という出会いが、縦の道によって生まれることを期待しています。

市長 人との関係を避ける人が多い都会と違って、人口が28万人規模の茨木市は、人との程良い距離感を求めて暮らしている方が多いように感じています。おにクルでも利用者同士、あるいは利用者と運営側に程良いコミュニケーションのある「ちょっとお節介な感じ」が生まれれば良いですね。

「おにクル」というネーミング

伊東 それにしても、あらためて「おにクル」というネーミングは素晴らしいですね。かわいらしさと親しみやすさがあります。

市長 6歳のお子さんのアイデアです。「おに(鬼)」は一般的にはマイナスワードですが、これがプラスの方にきれいにひっくり返っていると思いますか。このネーミングを初めて聞いたとき、その場にいた皆の心が動いたことを感じました。

伊東 そうした瞬間はとても大切だと思います。良いアイデアというのは、不思議と全員が「これならいける」と思うものですね。

市長 私はこういう経験は2度目なんです。茨木市制施行70周年を記念して市民の皆さんとつくった「次なる茨木へ」というブランドメッセージも、はじめて見た時に「これしかない」となりました。

市民が何度も訪れる場に

伊東 おにクルにはプラネタリウムや工作コーナーもありますから、例えば科学少年たちが集まり、何かを生み出すような場になれば素晴らしいですね。

市長 確かに。周辺には消防署や川端康成文学館などもあるので、観光や社会見学の一環としても利用していただけます。市民の皆さんに人生を通して何度も足を運んでいただける場をめざしたいと思います。



伊東 市の職員の皆様も、おにクルの設計や運用について非常に柔軟かつポジティブに対応していただきました。やる気にあふれた職員がいることは、より大きな盛り上がりにつながると思います。

市長 図書館が静かじゃなくてもいいのでは、といった、職員の中にも今まではなかった制約を乗り越えてやっていくという雰囲気が芽生えつつあると感じています。今後はここからさまざまな「人との出会い」「コトとの出会い」が生まれ、関わる全ての皆さんの人生に広がりがもたらされることを期待しています。

市民会館跡地エリアの これまでとこれから

平成27年(2015年)12月、長年にわたり本市の文化芸術活動を支えてきた茨木市市民会館が、経年劣化や耐震性、バリアフリーなどの課題から閉館を迎えました。その後、茨木市では、市民会館の跡地に加え、隣接する福祉文化会館や中央公園を含むエリアを「市民会館跡地エリア」と位置づけ、まちの確かな未来を見据えてエリアの活用方法を検討するため、市民の皆さんとともにさまざまな取り組みを実施してきました。

2015年 (平成27年) 市民会館閉館
1969年(昭和44年)の開館以来、身近な文化芸術活動の場として親しまれてきたが、46年の歴史の幕をおろした。

2016年 (平成28年) 市民アンケート
市民会館100人会議
全10回にわたり、無作為抽出の市民、市民会館利用者、市民団体などと市長が直接意見交換した。

2017年 (平成29年) 市民会館跡地活用検討委員会
市民と学識経験者で構成される検討委員会が基本構想を審議。

2018年 (平成30年) 基本構想策定「育てる広場」利用者・団体アンケート、ヒアリング
施設・広場づくり、ワークショップ
「使い方アイデア」や「広場利用コンセプト」をテーマにワークショップを開催。
基本計画策定

2019年 (令和元年) 社会実験「IBALAB」
市民会館の解体までの間、社会実験として市民自身の手で芝生広場を作り、活動する「IBALAB」を実施。

2020年 (令和2年) 新施設と広場の設計施工業者が決定
設計ワークショップ

2021年 (令和3年) 社会実験「IBALAB PLUS」
「IBALAB」を「まちなか」に広げる取り組み。実際にまちを歩き、見つけた空間の魅力を高める使い方を考え、実際に使ってみる社会実験。

2022年 (令和4年) 社会実験「IBALAB@広場の使い方」
IBALAB@広場のワークショップ

2023年 (令和5年) IBALAB@広場オープン
福祉文化会館解体までの暫定的な広場として、「つかう」と「つくる」を繰り返しながら、市民自身が育てていく「ハーフメイド」の広場。

2021年 (令和3年) ミルミルフムフム ツクル
施設と広場をフィールドに、茨木市の日常を面白く充実させていくためのデザインを学ぶワークショップを開催。

2022年 (令和4年) 新施設広場名称「おにクル」決定
ルールづくり会議
新施設で市民が活動しやすいするための活用のルールを考えるワークショップを開催。

2023年 (令和5年) 開館プレ事業「つむぐ。おる。」
順次開催
COTOLLEGE
「おにクル」をきっかけに、茨木市の市民活動を楽しく充実させていく「コーディネート」養成講座を開催。
市内勉強会
茨木市役所職員を対象に「市民活動」への行政参加をテーマにした勉強会を開催。多様な主体との協働・共創のあり方を検討。

2024年 (令和6年) 大ホールこけら落とし公演
オープニングイベントの開催
「おにクル」オープン
※大ホールのみ2024年予定

新施設エリア 工事中
ひろばかいぎ
IBALAB@広場でプログラムを開催する方たちが集い、情報交換や活用方法などを検討する会議を開催。

人の手が街の魅力を高める 人が集い、関係をつくり、 次につながる場になってほしい

茨木市をより魅力的な街にするため、DIYやリノベーションをキーワードにした活動を行う市民団体Locaco Project。IBALAB@広場をはじめとした市内各所で、市民主導によるさまざまなイベント・ワークショップを展開してきました。その代表であり、活動の企画・運営をリードする村上 貴信さんに、これまでの市民活動やおにクルへの期待、茨木市への思いをうかがいました。

Locaco Project



Locaco Project代表
村上 貴信 さん

茨木市を拠点とするLocaco Project代表、株式会社ARC研策代表取締役。「DIYで地域をつなぐ」をコンセプトに、イベントやワークショップを通してDIYリノベーションまちづくりを行う。

DIYがまちづくりにつながる

—Locaco Projectはどのような経緯で始まったのでしょうか？

村上 大学で建築を学び、大手ハウスメーカーで意匠設計の仕事をした後、生まれ育った茨木市に戻り設計事務所を立ち上げました。当時、大阪府北部地震や台風で古い家が壊れ、親しんできた茨木の街並みが変わっていくことに危機感を覚え、古民家再生やリノベーション、リフォームなどをメインに事業を展開するようになりました。折しも茨木市が「リノベのいばらき」というプロジェクトを立ち上げ、自分の事業と方向性が一致したことから私も参加するようになり、それがより市民主導型に発展する形でLocaco Projectが立ち上がったんです。

—主にどんな活動を行っているのでしょうか？

村上 まず、主な活動として空き家のリノベーションや古民家再生事業を行っています。

そうした専門的なノウハウを生かして、市民向けにさまざまなDIYイベントやワークショップも開催しています。例えばベンチやフェンスをつくりたり、街中に木のぬくもりをもった手作りのものを増やすことで、より豊かなまちづくりにつながればと考えています。

おにクルへの期待

—おにクルにはどのように携わってこられましたか？

村上 おにクルの設計ワークショップに参加したり、縦の道の活用や運用ルールを考えたり、最近はおープニングイベントの実行委員会にも参加しています。

—おにクルという施設をどのように捉えていますか？

村上 私たちが大学で学んだ公共建築の設計・コンセプトとは真逆にある施設だと思います。いかに良いデザイン・設計にするかというより、ソフトとハードのバランス、市民や民間の参画を前提としている点の特徴です。だからこそ市が提供するサービスだけでなく、市民活動や

Locaco Project 取り組み事例



子ども向けのマルシェイベント「こどいち」
値付けも販売も子どもたちが担う



DIYで製作した什器「やたい」はとても人気
貸出依頼が多く来るとい

ワークショップの場として機能しやすいと感じています。

—オープン後はどのような期待をされていますか？

村上 「子育て複合施設」という名称がついていますが、個人的には子育てのカテゴリにとどまらず、色々な人が集い、関係をつくり、次の活動につながるような媒体としての機能も期待しています。もちろんそうなるためには行政の力だけに頼ってはいけません。もちろん私たちと同じ民間で活動する人たちが情報を発信することが大切です。そうすることで子育てに関わる人たちと、市民活動が自然につながっていくのは良いですね。

—最後に、おにクルを含め、茨木市はどんな街であってほしいと思いますか？

村上 Locaco ProjectのコンセプトであるDIYは「Do It Yourself」が語源です。これはまちづくりにも通じるものがあり、住みよく暮らしやすい街は誰かがつくってくれるのではなく、自分たちでつくりたいという意識が大切です。そのためには難しい地域課題を解決することも重要ですが、私は市民それぞれが楽しい、面白いと感じる活動を続けることで、結果的に魅力的な街ができることもあると思っています。今後もおにクルの活用を含めて、Locaco Projectの活動の活発化、情報発信の強化を図るとともに、行政と市民活動をつなげる役割も果たしていきたいと思っています。



設計ワークショップ

市民一人ひとりの ライフステージとともにもとめる 施設をめざして

おにクルのオープン準備から企画・運営まで、それぞれの立場から携わってきた茨木市の職員の皆さんに、おにクルに対する思いや今後の期待を語っていただきました。

それぞれの おにクルとの関わり

的場 私は令和元年におにクルの新設を担当する部門に配属されて以来の関わりですから、無事オープンを迎えて感慨深いですね。まだ何も決まっていないところから携わり、業者の選定、市民とのつながり方の模索、そして新しい試みに対して既存の役割のルールと折り合い



をつけたりと、これまで苦勞してきたことが報われたように思います。**松井** 市民とのつながりは、市民活動を担当する私にとっても重要な課題でした。従来の市民活動はどちらかといえば会議室の中で行われることが主流でしたが、おにクルではオープンスペースを使用するなど、より開いた活動をめざしています。こうした方向性が市民参加型のワークショップで決まっていたことには意義があると思いますし、個人的にもその一連のプロセスで多くのことを学びました。**白坂** 図書館部門に携わった私にとっても、学びの多い経験になりました。時間的な問題もあり、まだ自分の理想とする図書館像が固まらないまま準備がスタートしたのですが、その中でも市民の皆さんに、

より親しんでいたただけるこれまでにない図書館で、かつ今ある良い所を引き継いだ図書館のあり方について自らの考えを磨き上げる必要がありました。簡単なことではありませんが、自分を鍛え上げられたと思います。

部署の垣根を超えて

坂口 私はもともと保育士として保育の現場にいたので、まさかこうした施設の運営や企画に携わるとは思いもしませんでした。でも、なるべくポジティブに捉えて、保育士としての視点を活かしながらも、さまざまな課や職種の人たちと協力するおにクルの業務はとても楽しく感じています。**名越** 私は令和5年からなので、建



松井 佑梨子
共創推進課

市民活動のサポート及びNPO法人に関わる業務などに従事。おにクルではオープンスペースの活用に携わる。

的場 理
共創推進課

令和元年よりおにクルに携わり、施設全体の調整業務のほか、市民参加の推進なども担当。

名越 琴恵
子育て支援課

保健師として子ども保健グループでの業務経験を活かして、おにクルでも子育て支援に携わる。

坂口 綾子
子育て支援課

おにクルプレ事業やクラウドファンディングなどに携わるほか、保育士目線からより良い活用を考える。

白坂 千里
図書館司書

児童書の選書やイベントなどを担当。おにクルぶっくばーく(図書館)の運営、広報業務にも携わる。

秋本 卓哉
文化振興課

文化芸術イベントやプラネタリウム関連業務を担当。おにクルでも開館前後のイベント企画・運営などに携わる。

物も企画もある程度固まった中で関わりとなりました。母子保健など、担当している業務と並行しながらおにクルのこともやるという点で、パランスがとりにくかった期間もありますが、相談が土日にもできるようなるなど、子育て中の市民の方にとってより身近な施設になることをめざして準備をしてきました。



秋本 私も名越さんと同じく、令和5年からの参画なので、すでに出来上がっている企画をいかに形にしていくのか、戸惑った部分もあります。前の所属部署ではデスクワークが中心でしたので、スポーツやアートを絡めた企画の実施など、イベントを具体的に準備していく仕事には不慣れな面もあり、苦勞しています。ですが、同時に他部署の人たちを含めた皆で話し合いながら課題を解決していくという点は、前の所属部署での業務に共通する部分もあり、楽しさを感じられています。

出会いが生まれる場へ

的場 個人的には、各階に設けたテラスの開放感はずいぶん楽しんで

と思います。

白坂 図書館フロアにもテラスがあるので、本を読みながらのんびりと過ごしてほしいですね。

的場 はい。また、これまでおにクルにはのべ2000名以上の市民の方が関わり、対話やワークショップを通してつくってきたという点も、他の施設との大きな違いです。

私たちは市役所業務のデジタル化や効率化に努めています。おにクルはあえて市民の皆さんに足を運んでもらう、実際に顔を合わせる施設でもありたいと思いますし、そんなような仕掛けをこれからもつくっていくつもりです。



松井 市民活動の面からも、まずはおにクルにきて、ここで「最初の一步を踏み出してほしい」と思っています。私も大学時代に感じたことですが、市民活動や社会参加をしたくても、何から始めればいいのか、どこに相談すればいいのか、おにクルという気軽に立ち寄れる場に市民活動センターを設置することで、そのハードルが下がることを期待しています。また市民活動にオープンスペース

を使えるというのは、市内公共施設ではじめての試みです。ぜひここから色々な出会い、活動が生まれてくれることを願っています。



秋本 そうした出会いや活動を、市の全域に波及することも大切ですね。

文化振興課の私からは、7階のプラネタリウムにぜひ足を運んでいただきたいと思っています。新しいデジタル投影機や充実した上映プログラムも導入しますが、令和5年8月に閉館した合同庁舎の「天文観望室プラネタリウム」で長く使われていた「MS18」という投影機も展示する予定です。これまで天文観望室プラネタリウムに親しんできた世代の方も、これからプラネタリウムの魅力に触れる子どもたちも、新しい思い出をつくらせていただければと思います。

気軽に、ついでに 立ち寄ってほしい

名越 明確な目的をもって来られる方だけでなく、ふらっと足を運んでも良い時間が過ごせる施設だと

思います。市の施設というと、どうしても「乳幼児向け」「高齢者向け」というイメージが強いと思うのですが、おにクルに関しては「時間が空いたから行ってみよう」「ぐらいい感覚で来ていただきたいんです。おにクルには屋内こども広場もつくる「やぶっくばーく」という図書館もあるのですが、これまでは「今日は健診に行かない」と意識込んで健診に来てくださったっていた保護者の方も、これからは「健診のついでに子どもと遊ぼう」と思って来ていただきたいですね。

白坂 内部が壁で完全に区切られていないので、「縦の道」を軸に、色々な施設に足を運びやすくなっていますよね。そういう意味では、おにクルは市民にとって絶好の待ち合わせ場所になると思います。ここは阪急とJRの駅の中間地点にありますし、中には色々な施設があります。相手が来るまで好きなように時間を過ごしやすいです。ね。「鬼さんも来たくなる」というのがネーミングの由来ですが、個人的には「常に鬼さんがいる」「ぐらいい居心地の良い施設になってほしい」と思います。



坂口 確かに。以前はおにクルという特別な場所ができる」という感覚だったのが、今は「日常使いができる施設」だと思えるようになりました。



名越 妊娠された方がおにクルに相談に来られて、生まれた赤ちゃんが健診を受け、幼児期になると図書館で絵本に親しむ。学校に通うようになればここで友達と待ち合わせたり、色々な出会いを経験して成長する。さらに大人になっても市民活動に参加したり、結婚して子育ての相談にくる。そんなふうには、市民一人ひとりのライフステージのそばにいつもあり、思い出が積み重なる場所になってくれれば、とても素敵だと思います。



共創の中心地

さまざまな機能が集まる複合施設おにクルは、市民や事業者、行政といった主体に関わらず、多彩なプログラムが交わり、つながることで新しい活動や場を生み出す「共創の中心地」です。

そんなおにクルの仕掛けのひとつが、各フロアを貫く大きな吹き抜けと、それを回遊するようにつなぐ「縦の道」。

この「縦の道」によってさまざまな機能が融け合い、音や空気感でいろんな場所でいろんなことが起きているのを感じることができるおにクルは、「日々何かが起こり、誰かと出会う」場となることでしょう。

縦の道

7階建てのおにクルの各フロアを貫く大きな吹き抜けと、それを回遊するようにつなぐ「縦の道」
縦の道によって生まれる出会いやつながりが、おにクルを「共創の中心」たらしめる

多様な機能が集まることで、おにクルの魅力をつくる

5 階 **6** 階

まるで公園に居るような図書館 「おにクルぶっくぱーく」

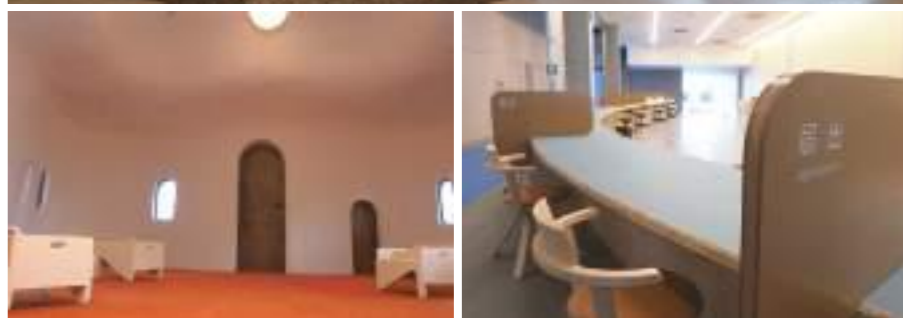
散歩途中の公園のように、さまざまな人が気軽に訪れ、いろんな場所で、それぞれのスタイルでくつろぎ、読書を楽しむことができる図書館、それが「おにクルぶっくぱーく」。メインフロアは5階、6階ですが、2階から7階まで各フロアに本やCDが。いろんな場所に本がおいてあり、おにクルぶっくぱーく目的で来館されていない方にも、偶然に本と人との出会いがある図書館となっています。



1 階 **2** 階

ワンストップの子育て支援 「^{プラス}ネウボラ+」

「妊娠・出産・子育て」に関するすべての相談窓口をワンストップで提供します。1階には茨木市の豊かな自然を屋内に再現し、雨の日でも外あそびが体験できる“まちなかの森 もっくる”が誕生。2階には遊びや憩い、交流、活動など、用途に応じてフレキシブルに活用できる自由な空間「わっくる」、本市在住の画家・井上直久さんがデザイン監修した「おはなしのいえ」、さらにさまざまな絵本が並ぶ「えほんひろば」など、子どもが楽しめる機能がいっぱいです。



3 階

クリエイティブな活動 「7つのスタジオ群」

高い防音機能を備えたスタジオや映像制作室、バレエやダンス等の練習利用に活用できる多目的室など、多彩な機能が集まります。



7 階

隠れ家的星空空間 「きたしんプラネタリウム」

解説員と観覧者の距離が近く、その人に語りかけているような「隠れ家感」が楽しめるプラネタリウム。演奏会や貸切利用など多様な使い方もできる珍しさが特徴です。

人と人のつながりを紡ぐ市民活動センター 「きゃぱす」

「楽しい活動が誰かの人生を豊かにする」をコンセプトに、きゃぱすのコーディネーターが市民活動をサポート。



1 階 **4** 階

可変性+優れた音響 「ゴウダホール」 「きたしんホール」

2層構成の観客席で、客席と舞台が近く感じられる一体感のある座席配置のホール。赤を基調としたカラーリングは、ホールのイベントに訪れる方のわくわくした高揚感を高めます。一方、1階のきたしんホールはコンサートのほか、ホールの扉を開け放った状態での開放的な使用も可能で多目的に使えます。



おにクル寄附者様のご芳名 (五十音順)

ご寄附をいただいた皆様への感謝の意を込めまして、ご芳名を記載させていただきます。

法人

| | | |
|-------------------------------|---------------------|------------------------------|
| 一般社団法人 アマービレフィルハーモニー管弦楽団 様 | 北おおさか信用金庫 様 | 有限会社つじせ 様 |
| AMUSE株式会社 様 | 木本建設株式会社 様 | 株式会社T.M.G 様 |
| INUI MUSIC SALON 様 | 株式会社久宝 様 | TRIUNFO株式会社 様 |
| 一般社団法人茨木カンツリー倶楽部 様 | 株式会社共遊商事 様 | 株式会社西口組 様 |
| 茨木市音楽芸術協会 様 | 近畿中央ヤクルト販売株式会社 様 | 二の丸電気工事株式会社 様 |
| 茨木市合唱連盟 様 | 株式会社クリアトラベル 様 | 一般社団法人 日本障がい者ファッション協会 様 |
| 茨木市商業団体連合会 様 | 株式会社グリーンホームズ 様 | ハウジングBBシステム株式会社 様 |
| 茨木市部課長会有志 様 | 建築工房なかしま一級建築士事務所 様 | 橋の内自治会 様 |
| 茨木商工会議所 様 | 株式会社工栄建設 様 | 株式会社原田設備 様 |
| 茨木商工会議所女性会 様 | ゴウダ株式会社 様 | ぴあのごみ 様 |
| 茨木商工会議所青年部 様 | こえのおと 様 | 平成産業株式会社 様 |
| 茨木市倫理法人会 様 | 有限会社サンクリスタルハウス 様 | ホンダ運送株式会社 様 |
| 一般社団法人茨木青年会議所 様 | 株式会社ジェイコムウエスト 北摂局 様 | Mare・Grande Esperanza 吉田 薫 様 |
| 茨木西ロータリークラブ 様 | 株式会社島田組 様 | 松本電気工事株式会社 様 |
| 茨木東ロータリークラブ 様 | 株式会社十全 様 | 株式会社マルフォース 様 |
| 茨木ローズライオンズクラブ 様 | 新堂電気工業株式会社 様 | みどり会 様 |
| 茨木ロータリークラブ 様 | 医療法人崇孝会 北摂クリニック 様 | 株式会社宮田トラフィック 様 |
| エスケー化研株式会社 様 | 杉山孝一税理士事務所 様 | 株式会社山口紅葉堂 本店・北店 様 |
| FC茨木ESB 様 | 世紀ジム株式会社 様 | 大和運送株式会社 様 |
| 株式会社エフワンエヌ 様 | 税理士法人蓮池会計事務所 様 | 株式会社山本興業 様 |
| 岡野工業株式会社 様 | 第一生命保険株式会社 様 | 株式会社ユニオンコーヒーロースターズ 様 |
| おにクル職長会 様 | 株式会社大商 様 | 義正造園株式会社 様 |
| 株式会社オフィス・アドバンス 様 | 株式会社大和測量設計事務所 様 | 株式会社龍琥堂 様 |
| 株式会社掛谷工務店 様 | 株式会社竹中工務店 様 | 株式会社涼樹園 様 |
| 掛谷不動産株式会社 様 | 株式会社タツキ 様 | |
| | 株式会社谷兼製作所 様 | |

おにクルへいただいたご寄附 (2023年9月5日までの集計)

| 寄附区分 | 件数 | 寄付額(円) |
|-------------------------------|-----|-------------|
| 第1弾「言葉」を育てるプロジェクト | 238 | 46,515,419 |
| 第2弾「ピアノ」を育てるプロジェクト | 50 | 450,000 |
| 第3弾「えほんひろば・おはなしのいえ」を育てるプロジェクト | 150 | 3,364,000 |
| 第4弾「宇宙とふれあえる場」を育てるプロジェクト | 171 | 1,624,000 |
| 第5弾「遊び」を育てるプロジェクト | 102 | 1,251,606 |
| 企業版ふるさと納税 | 4 | 1,900,000 |
| 一般寄付 | 1 | 100,000,000 |
| 合計 | 716 | 155,105,025 |

他、430件のご寄附をいただきました。誠にありがとうございます。

個人

| | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 青田 桂治 様 | 大浦 晴子 様 | 栗田 俊之 様 | 高比良 光洋 様 | 西田 知子 様 | 水木 真実子 様 |
| 赤田 朋子 様 | 大西 理恵 様 | 桑原 直子 様 | 高元 伊智郎 様 | 西田 美和 様 | 三角 和義 様 |
| 秋田 仁美 様 | 大根 輝男 様 | 五寶 美奈子 様 | 高元 康佑 様 | 西野 國夫 様 | 見附 康世 様 |
| 秋元 隆二 様 | 大橋 智宏 様 | 小池 愛哉 様 | 武田 賢三 様 | 西山 慶子 様 | 峯川 貴博 様 |
| 浅川 成勲 様 | 大平 清治 様 | 合田 順一 様 | 竹林 巧 様 | 野口 幸雄 様 | 宮地 宏征 様 |
| 朝倉 勉 様 | 大矢 宏 様 | 合田 真博 様 | 武村 昌行 様 | 後勢 未央子 様 | 宮脇 佳史 様 |
| 浅田 薫 様 | 岡田 大祐 様 | 合田 泰博 様 | 竹安 隆治 様 | 後出 芳嗣 様 | 迎井 麗子 様 |
| 浅野 節子 様 | 岡田 拓郎 様 | 小阪 広大 様 | 多田 明世 様 | 信垣 綾子 様 | 向田 明弘 様 |
| 浅野 有利恵 様 | 岡村 永一 様 | 小坂 優子 様 | 多田 恵理子 様 | 連池 章弘 様 | 村上 直子 様 |
| 阿曾 八夫 様 | 岡村 恵美子 様 | 小谷 和代 様 | 多田 副政 様 | 瀧岡 晟子 様 | 村上 弥生 様 |
| 足立 光晴 様 | 岡本 大典 様 | 小谷 龍太郎 様 | 多田 弘子 様 | 早川 雅子 様 | 村上 祐太 様 |
| 安満 英 様 | 岡本 麻祐 様 | 児玉 映治 様 | 辰見 登 様 | 原田 隆代 様 | 村上 美将 様 |
| 安満 希 様 | 荻田 善之 様 | 小林 昌平 様 | 辰見 正美 様 | 原田 強 様 | 村田 裕一 様 |
| 新居 久美子 様 | 奥野 吉宏 様 | 小林 幹明 様 | 田中 明子 様 | 久角 隆雄 様 | 村穂 美恵子 様 |
| 新井 貴行 様 | 長田 健雄 様 | 小林 敬直 様 | 田中 翔太 様 | 久角 哲也 様 | 村山 和一 様 |
| 新井 智鶴 様 | 小澤 英津子 様 | 才田 淑仁 様 | 谷村 育孝 様 | 久角 智一 様 | 森田 千恵子 様 |
| 池 光 様 | 押川 美智 様 | 斎藤 清一郎 様 | 田部 博子 様 | 久武 悟朗 様 | 森田 伸弘 様 |
| 池原 洋志 様 | 尾嶋 柳太郎 様 | 齊藤 舞歌 様 | 玉谷 圭太 様 | 平井 美代子 様 | 安井 昌 様 |
| 井崎 学 様 | 小田 佐衣子 様 | 酒井 大祐 様 | 田村 鈴代 様 | 平川 麻未 様 | 安江 紗弥 様 |
| 井澤 武史 様 | 小高 夕子 様 | 坂口 敦 様 | 田村 稔 様 | 平川 卓弥 様 | 山内 得世 様 |
| 石川 ひかる 様 | 垣内 充明 様 | 坂口 貴一 様 | 多本 ゆき枝 様 | 平野 翼 様 | 山岸 信雄 様 |
| 石田 綾子 様 | 掛谷 建郎 様 | 坂口 美由紀 様 | 團塚 瞳 様 | 平松 諒大 様 | 山口 宗馬 様 |
| 出雲 博夫 様 | 梶 修 様 | 阪田 浩 様 | 茶谷 剛史 様 | 深田 浩嗣 様 | 山崎 徹 様 |
| 磯崎 千景 様 | 糟野 則男 様 | 阪本 和義 様 | 長曾我部 亮 様 | 福井 都 様 | 山田 久敬 様 |
| 市川 勝弘 様 | 片岡 信人 様 | 佐久間 誠 様 | 塚本 佐知子 様 | 福岡 俊孝 様 | 山田 房江 様 |
| 井筒 恵子 様 | 片山 聡子 様 | 佐久間 夢花 様 | 辻 輝也 様 | 福岡 倫子 様 | 山田 正則 様 |
| 伊藤 憲司 様 | 片山 正孝 様 | 佐藤 希捺 様 | 土谷 茂 様 | 福田 泰浩 様 | 山中 一郎 様 |
| 伊藤 孝幸 様 | 加藤 秀治 様 | 佐藤 達哉 様 | 堤 義孝 様 | 福本 和子 様 | 山根 香織 様 |
| 伊藤 隆行 様 | 加藤 幹典 様 | 佐藤 正明 様 | 堂下 靖剛 様 | 藤井 隆太郎 様 | 山邊 正史 様 |
| 乾 泰夫 様 | 門田 清 様 | 佐藤 佑 様 | 堂島 明子 様 | 藤井 亮一 様 | 山本 和高 様 |
| 井上 諭 様 | 門谷 一實 様 | 澤田 絹恵 様 | 堂埜 善法 様 | 藤井 康典 様 | 山脇 妙美 様 |
| 井上 裕子 様 | 金山 薫章 様 | 澤田 浩至 様 | 徳田 賢 様 | 藤本 真紀 様 | 山脇 嘉文 様 |
| 井上 雅浩 様 | 金子 時江 様 | 澤田 晴光 様 | 富岡 エリカ 様 | 藤森 奈穂子 様 | 結城 和央 様 |
| 井上 美也子 様 | 亀井 哲郎 様 | 柴田 成子 様 | 仲 健一 様 | 藤山 竜大 様 | 柚木 孝仁 様 |
| 今井 喜美子 様 | 河合 恵子 様 | 清水 兼伍 様 | 中 利夫 様 | 細江 ゆかり 様 | 吉岡 和雄 様 |
| 今西 雅子 様 | 河井 豊 様 | 清水 真知子 様 | 中井 順治 様 | 細川 久美子 様 | 吉田 定雄 様 |
| 上田 雄彦 様 | 川久保 靖廣 様 | 下村 和嗣 様 | 中井 誠 様 | 細田 茂 様 | 吉田 巧 様 |
| 上田 悟 様 | 川野 貴史 様 | 城 正子 様 | 中石 泰治 様 | 堀 博明 様 | 吉原 智子 様 |
| 植田 真介 様 | 川端 真由美 様 | 庄子 晶子 様 | 中内 美咲 様 | 前田 万里子 様 | 吉原 正道 様 |
| 上田 千津子 様 | 川端 理津子 様 | 白坂 千里 様 | 中岡 久子 様 | 眞岡 翔 様 | 米窪 友康 様 |
| 植田 光世 様 | 川村 広美 様 | 新見 真人 様 | 中川 由美 様 | 孫田 栄子 様 | 若宮 優理子 様 |
| 上田 博子 様 | 岸本 采之 様 | 杉本 栄二 様 | 中路 恒男 様 | 増田 幸太 様 | 渡部 翔子 様 |
| 上田 嘉夫 様 | 岸本 伸一 様 | 鈴木 天志 様 | 中田 弘之 様 | 松崎 哲也 様 | 渡部 達意 様 |
| 上田 佳子 様 | 北村 嘉一 様 | 鈴木 敏彦 様 | 中塚 裕香 様 | 松永 純子 様 | 渡部 千香 様 |
| 上森 栄 様 | 北村 真一 様 | 鈴木 光浩 様 | 中西 藍 様 | 松永 豊 様 | 渡邊 裕也 様 |
| 上森 政志 様 | 木下 和彦 様 | 砂川 純子 様 | 中村 忍 様 | 松本 貴彰 様 | 渡邊 祐里 様 |
| 内田 佳美 様 | 木村 喜代美 様 | 諏訪 典子 様 | 中村 巧 様 | 松本 有里 様 | 渡 友洋 様 |
| 内橋 博美 様 | 木村 関彦 様 | 高尾 誓子 様 | 波江 彰彦 様 | 松本 良太 様 | |
| 内山 裕充 様 | 清岡 秀吉 様 | 田頭 久江 様 | 西浦 嘉晃 様 | 眞野 新吾 様 | |
| 浦上 浩人 様 | 倉橋 亘 様 | 高須 匡紀 様 | 西垣 利真 様 | 丸山 美奈子 様 | |
| 遠藤 祐介 様 | 栗尾 尚孝 様 | 高橋 裕之 様 | 西田 隆昭 様 | 三上 真二 様 | |



茨木市文化・子育て複合施設 おにクル

〒567-0888 大阪府茨木市駅前三丁目9番45号

<https://www.onikuru.jp/>